

JACR委員会報告 [安全管理委員会]



西野 善一 副理事長

金沢医科大学医学部 公衆衛生学講座

大木いずみ 栃木県立がんセンター

茂木 文孝 (公財)群馬県健康づくり財団

伊藤 秀美 愛知県がんセンター研究所

金村 政輝 宮城県立がんセンター研究所

昨年(2016年)6月に厚生労働省と国立がん研究センターより「全国がん登録における個人情報保護のための安全管理措置マニュアル」が公表された。このマニュアルは既存の「地域がん登録における安全管理措置ハンドブック第2版」を基本として全国がん登録の運用に即した内容に再編集したものであり、都道府県がん登録室において実施可能と考えられ、かつ確実に実現すべきことを基本対策として100項目を定めている。安全管理委員会の現状における大きな役割は各登録に対して基本対策の速やかな実施を促すとともにその支援を行うことである。とりわけ、従来のハンドブックから変更、追加された点についての周知が重要であると考えている。

実際の活動としては、基本対策では組織的安全管理対策の(9)として、「登録室責任者は、定期的(4~5年に1回)に外部の組織に要請し、都道府県がん登録室の安全管理について監査を受ける。監査結果を取りまとめ、総括責任者に報告する。」とされており、本協議会は国立がん研究センターが主体となって実施する都道府県がん登録室外部監査業務を受託して昨年度は7県について外部監査を行っている。受託にあたっては新たに全ての安全管理委員会委員を含む18名から構成される外部監査委員会が組織され、同委員会の方針のもとに、現地訪問、監査調書および報告書作成等の業務が行われている。また、同じく組織的安全管理対策の(7)には、同マニュアルに示された「安全管理措置チェックリスト」を用いて定期的(少なくとも1年に1回)に内部評価を行うことが定められており、本委員会では各登録がこの内部評価をコンピュータ上で容易に実施できるようなツールの開発を計画している。このツールを内部評価実施促進の一助とするとともに、内部評価が広く行われるようになった段階で各登録の了承を得て結果を収集し、安全管理措置の現状の把握と今後の委員会の活動に生かしたいと考えている。

JACR委員会報告 [学術委員会]



宮代 勲 理事

大阪国際がんセンター がん対策センター

西野 善一 金沢医科大学 医学部公衆衛生学

安田 誠史 高知大学教育研究部

祖父江友孝 大阪大学大学院医学系研究科

伊藤 ゆり 大阪国際がんセンター

学術委員会は前理事長の田中英夫先生が委員長を務められ、理事の西野善一先生と安田誠史先生に加え、専門委員の祖父江友孝先生と伊藤ゆり先生で構成されていましたが、このたび、理事として委員に加わるよう声がかかりました。6月に愛媛で開催の学術集会では、院内がん登録も対象となり、会期も三日間となりますので、学術委員会としても寺本典弘会長をはりきってサポートしたいと思います。

最近の学術委員会の活動としては、6月の学術集会での学術委員会シンポジウムの企画、学術奨励賞の選考があげられます。JACRモノグラフ編集委員としてサプリメント号の編集・執筆にたずさわったものの、私自身が推薦者であった今回の学術奨励賞は選考を辞退しましたし、学術委員会活動はこれからという状況です。広報委員会からの学術委員会報告依頼に適切ではないと回答したのですが、委員就任の自己紹介をせよとのことですので、変則的な記述をご容赦ください。

今年3月25日、地方独立行政法人大阪府立病院機構「大阪国際がんセンター」がオープンしました。昭和34年に国内初の生活習慣病専門の医療機関として森ノ宮にオープンした「大阪府立成人病センター」が大阪城に面する大手前に新築移転する契機に改称し、病院と研究所とともに三本柱を構成する「がん予防情報センター」も「がん対策センター」と改称しました。6月には、日本がん疫学・分子疫学研究会(祖父江友孝大会長)と日本がん予防学会(松浦成昭大会長)が合同で、「避けられるがんを防ぐ」のテーマで「がん予防学術大会2017大阪」を開催します。愛媛に続いて大阪にもお越しいただき、新しいセンターをご覧いただければ幸いです。



大阪国際がんセンター